



岩五だより



令和6年12月12日

「12月、今年も最後の月となりました」

師走に入り、寒さを感じる日々が増えてまいりました。小岩五中関係者の皆様方におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと思います。本年も本校の教育活動全般においてご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。今年も残すところ半月あまりとなり慌ただしいことと存じます。くれぐれもご自愛していただき、安全にお過ごしくださいますようお願いいたします。

さて、今年最後の学校だよりは、直近の12月2日(月)に行いました、全校朝礼で私が話したことをお伝えさせていただきたいと思います。毎回の全校朝礼では、生徒に伝えたいことを考えて話をするのですが、うまく伝えきれていないと日々反省しています。なかなか限られた時間(5分程度)の中で、まとめきれないこともあるので、今回は文章にて再度、小岩五中の生徒の皆さんにお伝えいたします。

本校2年生が、11月末にチャレンジ・ザ・ドリーム(職場体験)に取り組みました。参加した2年生は、それぞれの職場で様々な働く人から学ぶことが多くあったことと思います。本校の教育目標の一つに「勤労を尊ぶ人」というものがあります。それを感じることができる体験ができればいいなと考えていました。人は、いつしかそれぞれのタイミングで世に出て自分の力で働くこととなります。お世話になった各職場の方々や従事されている勤労に感謝できる人であってほしいと思います。私の中学時代の恩師の一人に技術科の先生がいます。その先生は、世の中の働くすべての人々や勤労のお陰で、自分たちの生活が成り立っているとおっしゃっていました。みんな違うそれぞれの職業に分業されていることがとても良いとおっしゃっていました。私たちの身の回りにある文房具や自転車、スマートフォン等に限らず、食料品、福祉、教育サービス等の生活に必要なものを自分ひとりで一から作り出すことは、大変です。それらを原材料から加工し、使いやすいように(食べやすいように)商品にしてくれる(勤労してくれる)人がいるから、私たちは簡単に利用することができます。自分一人の労力では、なかなか実現できないことを、我々人類は、分業と協力によって便利な暮らしを獲得してきたともいえます。2年生の皆さんは、この職場体験で得た経験を生かし、将来働くことを考えるきっかけとしてくれればと思います。また、学校行事ですので、事後学習として自分の体験した職場について発表する機会があると思います。同級生の友だちの体験した職場について詳しく知る機会ですから、意欲的に参加してください。この発表会には、1年生も参加する予定です。ぜひ、チャレンジ・ザ・ドリームがどのように行われて、どのような体験なのかイメージできるものにしていけるといいなと思います。それが、伝統になって次の学年に引き継がれていきます。「中堅学年の2年生」という発表会にしてください。

3年生の皆さんとは、11月末から校長面接を通して、直接お話をする機会に恵まれています。一人15分程度の短時間ですが、なかなかお一人おひとりと話せることは少ないので大変貴重な生徒理解の時間となっています。3年生の多くは、自分の進路や学校生活、趣味、特技等を和やかに自分の言葉で話してくれます。直接話してみると、様々なことに熱中したり努力・工夫したりしていることの発見があり、私は3年生をとても応援したくなります。それぞれの夢や希望に向かって頑張ろうとする生徒の言葉に毎回感動をもらっています。不安定な感情に流されがちな受験期まっさかりのときでしょうが、それぞれのやるべきことに残された時間を有効に使い、焦る気持ちと闘って打ち勝ってください。

本年も、小岩五中の関係者の皆さまには、大変お世話になりありがとうございました。また、遠方より小岩五中を見守ってくださる方もいるとお聞きし、大変感謝申し上げます。これから本校は、年末・年始と3年生の進路実現のため、3学年教職員を中心に皆で協力しながら最後まで頑張ってまいります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

学校だよりをお読みいただきありがとうございました。皆さま方、どうぞ良いお年をお迎えください。

江戸川区立小岩第五中学校
校長 前本 大智